

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	38165
事業名	富裕層受入環境整備費					
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE				
	課長名	瀬川	担当者名	松浦	電話番号	011-211-2376
施策名	主	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ● その他				
	目的	短期	宿泊施設への支援件数(累計):R1(2018)年度10件⇒目標R4(2022)年度24件			
		長期	札幌市内に富裕層向けホテルを誘致・整備し、市内での新規雇用創出を進めるとともに、本市のブランド価値を高め、経済活性化につなげる。			
	取組内容	・観光消費単価の高い富裕層を受け入れるため、市内宿泊施設が行う富裕層受入のための施設整備を支援する。 ・ハイクレードホテルの新設に係るインセンティブ制度(事業費なし)を他部署と連携し運用する。				
	実施結果	・市内宿泊施設が行う富裕層受入環境整備に対する補助を実施した。 ・ハイクレードホテルの新設に係るインセンティブ制度を他部署と連携し運用した。				
事業実施における工夫点	事業者と密に連携を取りながら各事業を実施した。					
対象者	観光関連事業者等			開始	平成29年度	終了 令和4年度
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況	京都市:上質宿泊施設誘致制度(スイートルームや最低客室面積など条件を満たすホテル建設を支援)、福岡市:ハイクオリティホテル建設促進制度(レストラン・ラウンジ等付帯施設や最低客室面積等の要件を満たすホテル建設を支援)					

◎事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費	80,686	92,000	10,200	0
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.4	0.3	0.3	0.6
人件費	2,880	2,160	2,160	4,260
計(事業費+人件費)	83,566	94,160	12,360	4,260
事業費の内訳	令和4年度決算	宿泊施設富裕層受入環境整備補助事業:10,200千円		
	令和5年度予算	終了		

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	宿泊施設への支援件数(累計)										
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定								
		17施設	24施設	20施設	-								
活動指標2		指標名											
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定								
成果指標1		指標名	札幌市内での総観光消費額										
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標								
		2,183億円	7,000億円	3,195億円	-								
成果指標2		指標名											
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標								
項目	判定	理由											
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	申請に基づき宿泊施設への支援を実施したが、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、目標件数までは達しなかった。											
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	補助上限額や補助率等は調査結果等を基に設定しており、事業規模は適正と考えている。											
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	より富裕層のニーズを捉えた補助事業となるよう、随時、富裕層市場に詳しいコンサルタントの意見を聴取しながら事業を実施した。											
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	本補助制度を活用して改修を行った事業者から、富裕層の利用が増加し施設の売り上げ上昇に繋がったなどの意見が寄せられている。											
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外 市民参加結果への対応 ☐ 回答 ☐ 反映												
今後の改善点	今後、必要十分な数のハイクレードホテルが整備される状況を踏まえ、令和4年度をもって補助事業は終了する。なお、ハイクレードホテルの新設に係るインセンティブ制度(事業費なし)は今後も継続する。												
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし												
今年度取り組んだ見直し内容	今後、必要十分な数のハイクレードホテルが整備される状況を踏まえ、令和4年度をもって補助事業を終了とした。			見直し効果額 (前年度)	92,000	千円							
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし												
評価の理由	宿泊施設への補助件数は目標数を下回ったものの、インセンティブ制度による効果も踏まえると富裕層向けの受入環境は一定程度整備される見通しであり、本事業の目的を達成したため。												
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☐ 現状維持 ☒ 休止・廃止											
		令和4年度をもって補助事業終了											
	予算	☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☒ その他			見直し効果額	0 千円							
		令和4年度をもって補助事業終了											